

# 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【指扇小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	全体的には、基礎的・基本的な知識・技能の向上が見られた。しかし、学年別に見ていくと差が大きく、引き続きタブレットの活用、家庭との連携等を図り、個別に対応した指導を続けていく。 漢字や基本的な計算の反復・習熟に取り組む。また、読書習慣を付けさせ、語彙力や読解力の向上を図る。
思考・判断・表現	引き続き、ICTの活用による思考の可視化や、課題を明確にした協働的な学習により、深い学びを行っていく。 国語では、物語やスピーチ等の内容の要約をして話し合う活動をし、身に付けた力を他教科でも生かせるようにする。算数では、基本的な計算力を身に付けるだけでなく、数の仕組みについて理解を深め、計算の仕方について説明し合う等の活動を重視していく。
主体的に学習に取り組む態度	引き続き「GRIT目標」の取組を続け、粘り強さを身に付けさせ、改善を図る。算数が課題となったので、基礎・基本の定着を図るための時間を確保するとともに、ICTの活用をより充実させ、魅力ある授業づくりを目指していく。

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	R4年度全国学力・学習状況調査及びR4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より国語・算数の「知識・技能」において2pt向上させる。	⇒ 「ドリルパーク」等を活用し、漢字や基本的な計算の反復・習熟に取り組む。授業中だけでなく、家庭学習においてもタブレットを活用する機会を増やす。
思考・判断・表現	R4年度全国学力・学習状況調査及びR4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より国語・算数の「思考・判断・表現」において2pt向上させる。	⇒ 各教科において、自分の考えを明確にするための「書く」活動と、児童一人ひとりの考えを伝え合うICTの活用のそれぞれの時間を十分に確保し、充実させる。また、思考を可視化して協働的な学びを実践できるようにする。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査及びR5年度さいたま市学習状況調査の「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む」の質問項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。	⇒ 児童一人ひとりが見通しをもって、進んで学習に取り組めるように「さいたま市『アクティブラーニング』型授業」を実践する。また、何事にも粘り強く取り組めるように「GRIT目標」を設定して、継続して取り組めるようにする。

<小6・中3>(4月~5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、学校全体で見ると、国語±0pt、算数+2ptとなった。「ドリルパーク」の活用や家庭学習等で個別に対応したことにより、昨年度からの伸びが見られる。	B
思考・判断・表現	R5年度さいたま市学習状況調査「思考・判断・表現」において、学校全体で見ると、国語+3pt、算数-3ptとなり、国語は目標値を上回ったが、算数では下回った。課題を明確にした協働的な学習を行うことで、国語では学びを深めているが、算数では「数と計算」等で課題が残された。	C
主体的に学習に取り組む態度	R5年度さいたま市学習状況調査においても「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む」の質問項目の結果は、87%が肯定的な回答となっており、目標値を上回っている。また、「国語・算数の勉強は好きですか」の質問項目については、国語は目標値を上回ったが、算数では下回った。	B

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R4年度全国学力・学習状況調査の自校結果より国語は-4pt、算数は-3ptであった。国語では、特に漢字や敬語等言葉について課題が見られる。算数では、特に「図形」の領域に課題が見られる。
思考・判断・表現	R4年度全国学力・学習状況調査の自校結果より国語は-4pt、算数は-4ptであった。国語では、特に「話すこと・聞くこと」に課題が見られる。算数では、特に自分の考えを記述する問題で無解答率が高く課題が見られる。
主体的に学習に取り組む態度	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む」の質問項目の結果は、86%が肯定的な回答となっている。また、「国語・算数の勉強は好きですか」の質問項目の肯定的な回答が他の質問項目と比較すると低い数値となっている。自分の力でじっくり考える力は身に付きつつあるが、学習に対する興味・関心を高めることも課題である。

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析 ※令和5年度のさいたま市学習状況調査結果は参考扱いとなります。			
小3	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、昨年度調査より国語-3pt、算数+3ptであった。また、「思考・判断・表現」においては、昨年度調査より国語+5pt、算数-1ptであった。国語では「読むこと」に関する問題、算数では「数と計算」に関する問題に課題が見られた。「国語・算数の勉強は好きですか」の質問項目については、どちらも肯定的な回答が75%以上となった。	小4	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、昨年度調査より国語-7pt、算数+7ptであった。また、「思考・判断・表現」においては、昨年度調査より国語+5pt、算数-5ptであった。国語では正しい漢字に直す問題、算数では「図形」に関する問題に課題が見られた。「国語・算数の勉強は好きですか」の質問項目については、肯定的な回答が国語67%算数59%であった。
小5	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、昨年度調査より国語+1pt、算数-1ptであった。また、「思考・判断・表現」においては、昨年度調査より国語+5pt、算数-5ptであった。国語では主語と述語に関する問題、算数では小数の乗除法や公約数に関する問題に課題が見られた。「国語・算数の勉強は好きですか」の質問項目については、肯定的な回答が国語85%、算数56%であった。	小6	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、昨年度調査より国語-2pt、算数-2ptであった。また、「思考・判断・表現」においては、昨年度調査より国語-1pt、算数-3ptであった。国語では「話すこと・聞くこと」に関する問題、算数では縮尺や割合に関する問題に課題が見られた。「国語・算数の勉強は好きですか」の質問項目については、肯定的な回答がどちらも64%であった。

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 「ドリルパーク」等の活用や家庭学習においては、学習ログ等を活用し、個別に対応する。(追加)
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 一人ひとりの考えを伝え合う場や協働的な学びにおいては、目的意識をもって学習できるよう課題を明確化する。(追加)
主体的に学習に取り組む態度	R5さいたま市学習状況調査の「国語・算数の勉強は好きですか」の質問項目について、肯定的な回答の割合を70%以上にさせる。(追加)	⇒ ICTの活用を充実させ、魅力ある授業をつくり、「さいたま市『アクティブラーニング』型授業」を実践する。引き続き「GRIT目標」の取組を続け、粘り強さを身に付けさせ、改善を図る。